

放送条約に関する対応の在り方についての検討経過報告

令和 5 年 1 月 1 3 日
放送条約の検討に関するワーキングチーム

1. 検討に至る経緯

国際小委員会「放送条約の検討に関するワーキングチーム」（以下「本 WT」という。）は、世界知的所有権機関（WIPO）の著作権等常設委員会（SCCR）におけるデジタル化・ネットワーク化に対応した放送機関の権利保護に関する新たな条約策定に向けた機運の高まりを受けて、放送条約への対応の在り方について集中的かつ機動的に検討を行うものとして、令和元年度及び令和 2 年度の国際小委員会において設置された。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、WIPO において実質的な議論を行うことができなかつたため、令和 3 年度は、本 WT の設置も見送られた。

現在、WIPO の活動は通常に戻りつつあるところ、昨年 5 月に開催された第 4 2 回 SCCR 会合にて、約 2 年半ぶりに新たな議長テキストが示されたことを踏まえ、令和 4 年 8 月 2 3 日の国際小委員会において本 WT を再度設置し、放送条約への対応の在り方について検討することとされた。

2. 開催状況、検討経過

今年度の本 WT は、令和 4 年 1 2 月 2 6 日（月）に開催した。

はじめに、事務局から放送条約の議論の動向と今後の予定、上述の新たな議長テキスト、当該テキストに対して日本が SCCR 事務局に提出したコメントについて説明があり、その後、これらの説明事項について質疑応答が行われた。

続いて、当該テキストが、今後の修正の余地が大きい流動的な状態であることを踏まえて、「保護対象」及び「与えられる権利」といった基本的な事項について、我が国としてどのような方針がとり得るか議論し、検討を行った。

3. 今後の方針

本 WT では、国内外の放送に関する実態・動向の分析を行いつつ、引き続き放送条約における「保護対象」及び「与えられる権利」への対応を中心に、WIPO での議論の進展に応じて我が国の対応の在り方の検討を進めていくこととする。

第22期文化審議会著作権分科会 国際小委員会
放送条約の検討に関するワーキングチーム 委員名簿

- | | | |
|------------|------------|---|
| いまむら
今村 | てつや
哲也 | 明治大学情報コミュニケーション学部教授 |
| うえの
上野 | たつひろ
達弘 | 早稲田大学法学学術院教授 |
| にしわき
西脇 | ひろゆき
博行 | 一般社団法人日本民間放送連盟知財委員会知財専門部会法制部会法制・条約ワーキンググループ主査 |
| ひろいし
広石 | みほこ
美帆子 | 日本放送協会知財センター著作権・契約部長 |
| もとやま
本山 | まさひろ
雅弘 | 国士舘大学法学部法律学科教授 |

(以上 5名)